



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人北海道光生舎米里工場	階数	2
建設地	札幌市白石区米里1条2丁目3-4	構造	S造
用途地域	準工業	平均居住人員	30人
建物用途	事務所・工場	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
竣工年	2020年3月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	3,927 m ²	評価の実施日	2019年8月19日
建築面積	1,741 m ²	作成者	河野 嘉
延床面積	2,194 m ²	確認日	2019年8月20日
		確認者	中村芳朗



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆ **B-**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 C

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

実施設計段階

■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記②以外のオンサイト手法	31%
④上記オフサイト手法	17%

このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート(個別計算)」を参照されたい

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEE][BEIm] = **0.79**

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	A 省エネルギー
B 省資源等	C 緑化
	D 雪処理

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 社会福祉法人北海道光生舎米里工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能 省エネ								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備 省エネ								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御 省エネ								
2 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能 大きな居室には、居室床面積の1/30を超える広い面積の窓を設置している。								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	3.0
1 機能性			2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ			2.3	0.40	-	-	
1	広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	
2	高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	-	
3	バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	-	-	
1	広さ感・景観 (天井高)		3.0	0.33	-	-	
2	リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3	内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			2.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		平均の階高が、4.175mとなっている。	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率が、1階は0.1、2階は0.187となっている。	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			平均の積載荷重が、4.49N/m ² である。	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.37	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出		緑化		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化	階高を最小限に抑え、植栽等を配して、景観に配慮している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								2.9
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI _m =0.68 である。	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		省エネ		3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネ	[BEI][BEI _m] = 0.79 -	3.1	0.59	-	-	3.1
4 効率的運用				2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	
4.1	モニタリング	省エネ				-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ				-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源		3.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		省資源	鉄骨造であり、必要最小限の構造体としている。	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 熱化 蓄熱処理		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	雨水貯留槽を設置している。	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		適切な駐車スペースを合理的に配置している。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理	排水の再利用施設を設置し、廃棄物を抑制している。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	-	
2	振動			3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制				-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.8	BEEランク	B ⁻
建物名称	社会福祉法人北海道光生舎米里工場				
建物用途	事務所,工場				
延床面積	2,193.6 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 22.5 最低点 6.7)		合計 13.6点 /22.5点			
Q1 温熱環境	スコア 0.3 /0.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 1.1 /1.1		
Q1 光・視環境	スコア 1.1 /1.7	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.4 /2.4		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 7.3 /11.8		
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 /4.7		
B 省資源等 (最高点 24.2 最低点 7.8)		合計 13.4点 /24.2点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.5 /9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.1 /2.8	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /1.9		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.6 /5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.3 /4.4		
C 緑化 (最高点 18.4 最低点 3.7)		合計 10.3点 /18.4点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.2 /5.6	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0 /7.5				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.1 /2.8				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 0.0点 /3.0点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0 /2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数